

# 宮川

まちづくり協議会だより

令和元年10月31日現在  
【世帯数】 244 戸  
【人口】 男：337 名  
女：354 名  
合計：691 名  
発行日：令和元年11月20日  
発行：宮川まちづくり協議会

今年は宮川小学校が閉校してから  
最初のふるさとまつり。  
宮川っ子が来てくれるふるさとまつりにしたい。

そして色々な世代の人たちに楽しんでほしい。  
そんな実行委員たちの思いは、届いたかな。

Photo by Norio Kakimoto

**特集：みんな手作り！**

## 第37回 宮川ふるさとまつり

小特集:加茂区お試し体験住宅

# ふるさとまつり

今年のふるさとまつり当日は、実行委員会側もいつもよりドキドキ！それは、先月の協議会だよりでお伝えしたように、今年初めての取り組みがたくさんあったからです。

来場者が、ステージ発表や出店ブースと物理的にも心理的にも近く感じることができるよう、タイムテーブルの組み方やあらゆる世代が楽しめる企画づくりに苦心しました。

結果は、大成功！体育館内は常に活気に包まれ、来場者の方の反応も上々でした。実行委員たちは疲労感を上回る充足感に包まれました。



林久美子さん  
歌謡ショー

上・右・右下・下/昼休みと歌謡ショーの1時間半に「クラフト時間」を設定。子どもたちだけでなく、大人もリース&スワッグ作りを楽しみました。



実行委員会：ゴム飛行機づくり



ワークショップ「花ほ」近藤美穂子さん  
ミニリース&ミニスワッグづくり



児童館：ハーバリウムづくり



宮川保育園 園児



インタビューもしたよ



宮川太鼓衆”華鼓宮”



小浜美郷小学校5年生  
ポスター発表



区民参加の  
ステージ企画



小浜第二中学校 プラスバンド部



宮川区民格付けチェック

## タイアップ！ 男女共同 参画事業

## そばうち体験

昨年公民館で行い好評だったそば打ち体験を今年もということで、ふるさと祭りと合体！最初に市民協働課の河島グループリーダーからお話を伺ってから、太良庄の蕎麦打ち名人、高鳥重郷さん（小浜市認定・食の達人）に指導してもらいながらコシのある蕎麦をうちました。その打ちたて蕎麦を、生活環境整備委員会が給食室で調理して来場者にふるまってくれました。



2階 元1年生教室

お餅を作ってくれた区長会・運  
審・児童館・老人クラブ有志のみ  
なさんありがとうございました。



餅まきも  
復活



お楽しみ  
抽選会



食生活改善推進委員



開会式：  
くす玉割り



メダカ屋：メダカすくい



コスモス茶屋：フリマ、飲食



いずみの会：炊き込みご飯&  
ポップコーン



老人クラブ：焼き芋のふるまい

今回のふるさと祭りで大きく  
変わったのは、各種団体の強制  
参加だけでなく、宮川地区の人  
たちが自由意思で参加してく  
れたことです。フリーマーケット  
ブースでは、「コスモス茶屋」  
と「メダカ屋」が開店し、さま  
ざまな日用品やつきたての餅  
入りぜんざい、メダカすくい、  
燻製などが店頭に並びました。



ひまわりクラブ：  
タビオカジュース&ベビークステラ



青年倶楽部：肉まん&各種ドリンク



保育会：  
保育園児たちの絵



昨年度の  
アンケートを  
反映しました



写真が見にくいかもしれませんが、一覧表内の蛍光ペンで色付けしてある箇所は、今回の参考にしたり完全したりした内容です。



ベビールーム（授乳・オムツ替え）も設置。  
「宮川地区には乳幼児が少ないから申し訳ないけど、助かりました。」という声を頂きました。

ふるさとまつりを終えて

## 移住体験中の 岡本さん夫妻に インタビュー

みなさん、11月から加茂区にある移住体験住宅に一組のご夫婦が住んでおられたのをご存知でしたか？お二人は、小浜市が市外からの

移住者を増やすために取り組んでいる「お試し体験住宅」制度を利用して神奈川県から来られ、先日のふるさとまつりにも足を運んでくださいました。今回は、このご夫婦に移住体験にまつわるお話と、宮川地区の印象を伺います。



岡本恭一さん(73)と妻の裕子さん(60)。アイザワ商店(加茂区)にて。

吉村:まず、お二人の自己紹介をしていただけますか。

恭一さん:はじめまして。私は岡本恭一と申します。妻の裕子です。私たちは横浜市鶴見区からやってきました。

吉村:お二人はどのようなきっかけで加茂区に来られたのですか？

恭一さん:退職した後に、スローライフというか、色々な所の暮らしを知ってみたいと思い、小浜市のホームページを見て申し込みました。

吉村:全国にはたくさんの自治体があるなかで、なぜ小浜市のホームページを読まれたのですか？

裕子さん:東京の有楽町など、都会では全国の自治体が参加する移住体験の説明会が定期的に開かれていて、私たちは何度かその説明会を聞きに行っていました。そこでは就職説明会のように、各自治体が各々のブースを持ち、担当者が色々な説明をしてくれます。

吉村:それにしても、その中でなぜ、小浜市を？

恭一さん:私はとにかく海が好きで、あとスキーが趣味なので、その二つが揃うところという、あるようで実は少ない。小浜市はそのどちらも満たして、京都や大阪にも近いので、地理的にも利便性のいい場所だなと思います。

吉村:本当にそう思います。小浜市には海も山も農も歴史も色々あります。

恭一さん:そして、空き家バンクを持っている自治体はたくさんあるのですが、それだとその地域のことをよく知らない段階で空き家を購入するという大きな決断が必要なので、気楽にはいきません。そういう意味で、この移住体験制度というものはとても有難いです。

吉村:ところで、岡本さんはいつから加茂区に住んでおられるのですか？

恭一さん:私たちは11月6日から25日の朝まで滞在予定です。小浜市の募集は2週間だったのですが、それだと移住体験先の地域の様子を知るには短すぎると思い、小浜市に延長希望の文書を提出して特別に3週間にしてもらいました。今回もすでに西は綾部・美山から東は美浜まで訪れています。宮川地区内もよく散歩していて、長泉寺や建て替え中の神社(大幡彦姫神社)にも行きました。

吉村:今住んでおられる移住体験住宅はどうですか？

恭一さん:まず驚いたのが、大きい！都会では一軒家でも120㎡、30坪ほどが標準なので、こんなに広い家はいったいどうやって使うのだろうと初めは戸惑いました。都会では「余る部屋」がありません。今、布団はレンタルで、それ以外の日用必需品もすべて揃えてくれています。

裕子さん:先日のお祭り(ふるさとまつり)でも感じたのですが、宮川地区の方は、顔がとても穏やかで優しいですね。

吉村:今年のふるさとまつりは色々工夫をしたのですが、どうでしたか？

恭一さん:まず、一番驚いたのが、テーブル席に座っていたら近くの男性に「見かけないけど、どこの人？」と聞かれたことです。思わず、「そう聞かれるということは、この会場に来ておられる他の方のことは誰だかわかりなのですか？」と聞き返してしまいました。すると、「だいたいわかる。」と答えられたので、ああ、この地域は本当に親密なんだなと感じました。現住する横浜市は約350万人、鶴見区でも約27万人、その中の町だけでも約1500人の人が住んでいるので、誰か分からないことが普通です。地域の行事として神輿はありますが、神輿を担いでいる者同士ですら誰だかわからないということもあります。

吉村:会場ではステージ企画や出店をみてもらえましたか？

裕子さん:お野菜を売っているところがありましたが、ほのぼのしていてとてもいいですね。シイタケの原木を売っていて、しかもとても安くてびっくりしました。野菜について質問したら、店番の人が「自分では分からないから出品者に聞いてくる。」と聞きに行ってくださいました。生産者が誰だかわかり、その方がすぐ近くにいることにも驚きました。

恭一さん:ステージも地元住民が作り上げていて、ああいう祭りは自分たちの地区ではないので、いいなと思いました。総持寺の縁日などはありますが、住民は客なので自分たちが参加するという意識はありません。

吉村:宮川地区は地区外の人を受け入れてくれる方ばかりなので、今回は移住体験が11月という時期でしたが、ぜひまた別の時期に宮川に来て、宮川の地区行事に参加してください。ありがとうございました。

# ほかにも、宮川地区でこんなことがありました



10月10日(木)

小浜美郷小学校3年生  
秋の遠足



(株)若狭の恵の乾燥調製施設と旧宮川小学校近くのキャベツ畑を見学した後、児童たちは加茂神社で昼食をとり、午後から加茂古墳を訪れました。行程約13キロだそうです。昨年度「まほろば事業」で取り付けた観光看板が役に立っていました。

10月19日~21日

聖観世音菩薩

三十三年御開帳法要(大谷区)



餅まき・ビンゴ大会・花火なども行われ、盛大に祝われました。



中川儀彦会長

1 多賀大社



園児と祖父母も一緒に歌える童謡もあり、園は和やかな空気に包まれました。生の歌声はやはり心に響きますね。

10月31日(木)

宮川保育園 祖父母のつどい



最初の30分ほど園児と祖父母たちで自由に遊んだ後、ひまわり荘に勤めながら音楽の勉強を続けている堂前智美さんを招いてミニコンサートが開かれました。



11月1日(金)

新保区ため池調査



当初予定していた10月27日は水が抜けきらず延期になっていました。



この日捕獲したフナやナマズなどの生き物は、旧宮川小学校の職員玄関の水槽に入れられ、ふるさとまつりの日まで子どもたちの目を楽しませてくれました。

10月24日(木)

宮川老人クラブ研修旅行

2 日本料理 ひょうたんや



45名が参加してくれました!

4

酒蔵 藤居本家



3

クラブハリエ  
近江八幡日牟禮  
ヴィレッジ



# 多肉植物寄せ植え教室



講師：杉本和範さん

宮川地区内外に住む植物が好きな17人が、  
自分だけの小さな世界を作りました。



みなさんの作品

キッズスペースがあるので  
子連れ参加もOK!



黑板アートをしてくれたのは、  
清水心菜さん&前野萌衣さん



ふるさとまつりに  
向けて、ボランティア  
の方が草むしり  
をしてくださ  
いました



## お知らせ Information



### 12月の行事予定

- 7 (土) 生活発表会・クリスマス会  
(9:00~、宮川保育園)
- 12、26 (木) 小浜病院巡回診療日  
(14:00~、宮川公民館)
- 17 (火) いきいき100歳体操  
(10:00~、宮川公民館)
- 27 (金) 仕事納め
- 31 (火) 除夜の鐘(長泉寺・龍泉寺)

### 12月の休館日 <9日間>

- 2 (月)
- 9 (月)
- 15 (日・第3日曜)
- 16 (月)
- 23 (月)
- ※ 12/28(土)~1/6(月)  
は、年末年始特別  
休館になります。

**編集後記** 宮川ふるさとまつりのサブテーマは、「みんなで楽しもう!あなたが主役のふるさとまつり」です。今年  
は進め方を変えたので、実行委員や関係者のみなさんに例年より負担を強いてしまったと思います。けれど、それ  
だけやった甲斐があったふるさとまつりになったと思いますし、サブテーマのように、実行委員や関係者の皆さんが  
主体的に関わってください、「主役」だったと思います。楽しさと大変さはワンセットだなあとつくづく思いました。(Y)